

先行研究から現状を考える

1 読んだ書籍について発表する

組 番号 ゼミ 氏名

【テーマ】	
【選んだ書籍】	教科書 p.14 を参照して記入せよ。
【内容要約】	
【わかったこと】	
【新たな問い】	

2 先行研究・事例を探す

先行研究・事例とは、その課題解決に向けてすでに官・民で行われた研究や取り組みのこと。自分のテーマや研究内容に関するキーワードを複数挙げて文献や論文を検索すると何点か見つかるので、そこに示された参考文献を見ながら、先行研究・事例を探していくこと。検索する際には以下のサイトを参考にしてほしい（教科書 p.97 参照）。

- ① 国立国会図書館サーチ (<https://iss.ndl.go.jp/>)
- ② CiNii (<https://cir.nii.ac.jp/>)
- ③ Google Scholar (<https://scholar.google.com/>)

【作業】GW 中の課題をもとに、次に調べる先行研究を書き出そう。

【新たな問い】	
【先行研究】	(例) 福井憲彦(2010).『近代ヨーロッパ史』.ちくま学芸文庫 ・ ・ ・

3 先行研究・事例を理解する

先行研究・事例を理解するためには多くの論文や文献を読む必要がある。それらの多くは序論・本論・結論の構成で成り立っているため、下記の点を確認しながら、先行研究・事例の理解を深めてほしい。

【序論】	研究の導入部分であり、「何を」「どのように」明らかにするのかを研究意義とともに述べる部分 リサーチクエスチョンとは何か？/どのような手法で検証していくのか？/この研究の意義は何か？
【本論】	リサーチクエスチョンに対する「答え」を導く論文の本体部分 検証の過程で発見された事実とは何か？/事実からどのような論理で答えを導いているか？
【結論】	その研究から導かれた答え

【整理】先行研究・事例をまとめる

自分が立てた問い	
先行研究 書籍名 論文名	教科書 p.14 を参照して記入せよ。
リサーチ クエスチョン	
仮 説	
研 究 方 法	
先行研究 から学んだ こ と	
先行研究へ の疑問点や 不 足 事 項	
新たな問い 今後の展望	

※ 上記の表は Teams 内「戸山_R07_知_知の探究Ⅱ」のファイルに格納してある。必要であれば、各自ダウンロードして使用すること。

【参考】テーマ決定チェック項目

- ☐ テーマは具体的であるか（幸福・正義・経済など抽象的で漠然とした事象や概念を研究対象としていないか）
- ☐ SDGs と関連性のあるテーマか（研究の結果が社会的な意義を持つか）
- ☐ テーマに関する先行研究や資料があるか（先行研究があれば、それを発展させる研究にする必要がある）
- ☐ 調査検証の方法を想定しているか（現時点で何か考えているか）
- ☐ 研究に倫理的な問題はないか（個人情報扱う研究、安全性・違法性の問題、残酷な動物実験など）
- ☐ 自分の力で扱えるテーマであるか（高度に専門的なテーマになっていないか）
- ☐ テーマに独自性があるか
- ☐ 普遍的に定義できない、あるいは定義しにくい事象や概念をテーマにしていないか（笑いや美しさなど）